

- 1・29 押収資料改ざん事件、前特捜部長ら保釈一大坪弘道・前大阪地検特捜部長  
(57)、佐賀元明・元同副部長(50)、保釈(保釈金各1500万円)→10・10・  
1 逮捕勾留以来一保釈後の記者会見、村木厚子氏への謝罪と「最高検と闘う」  
決意を表明(1・30A、Y)
- 1・27 新嘉手納爆音訴訟上告審決定一最高裁第1法廷(白木勇裁判長)、5540人が  
国に対し損害賠償訴訟提起で①賠償額上乘せの二審判決支持、②差し止め  
求めた466人の上告棄却一決定一国に約56億円支払いを命じた2審判決確  
定へ
- 2・2 H(主) 『日の丸・君が代』判決一強制を続けていいはずがない

## エジプト動乱とアメリカ中東政策大揺れ

- 1・29 エジプト動乱、ムバラク大統領「辞任否定」一反政府デモの波で初のテレ  
ビ演説「全閣僚に辞任を求める。あす中にも新たな内閣を組織する」「私の  
心は常に貧しい人々とともにある。これからもエジプトの安全と安定を守  
る」(1・29A夕)
- Y夕「エジプト騒乱、24死亡、全土拡大出動一大統領演説、退陣要求を  
拒否一全閣僚更迭、夜間外出禁止一独裁象徴、与党ビル炎上、『ムバラク倒  
せ』数千人が雄たけび」/M「エジプト一デモ拡大死者74人一内閣が総辞  
職」/Y「中東安保に不安定要因、エジプトでも一イスラエルに危機感、  
原理主義勢力の台頭警戒」/T「エジプト一デモ拡大死者100人超、大統  
領居座り拒否」「イスラエル戦々恐々、エジプト反政府デモアラブ防波堤  
危うく一イスラム勢力台頭懸念一米、強める改革圧力」→1・30A「エジプ  
ト無政府状態一軍、民衆デモ制止せず」「反ムバラク怒り頂点一エジプト、  
市民、禁止令を無視一大統領演説、火に油」
- ⇒副大統領を指名一ムバラク大統領、オマル・スレイマン情報長官を副大  
統領に、新首相にアハメド・シャフィク氏を指名(1・31M)
- 1・31A「エルバラダイ氏軸に結集、エジプト一野党、暫定政権探る」「エ

ジプトの宝受難一略奪、放火、自衛する市民一経済、観光、機能不全に一  
『暴徒から博物館守れ』数千人が人間の鎖」「米でも辞任要求デモ一オバマ  
政権は様子見」「(社)エジプト危機一ムバラク氏は即時辞任を」

⇒1・29～30 **オバマ大統領、電話会談**一トルコ、イスラエル、サウジアラビ  
ア、英国各国首脳と電話会談一「エジプト国民の願望に応じる新政府への  
秩序ある移行」を支持する考えを伝え、協力を求める (1・31A夕)

→2・1A **「米、ムバラク氏見切る**一エジプト新政権移行支持、事態收拾困  
難と判断」

→1・31**M夕**「エジプト一『数日内に変革』エルバラダイ氏演説」

⇒1・31 **エジプト国軍、声明**一「市民は正当な要求を掲げており、平和的に  
行動する限り発砲しない」 (2・1A夕)

⇒1・31 **ムバラク大統領、「対話」を指示**一スレイマン副大統領 (国営テレ  
ビ)、「全ての政治勢力とただちに対話を始めるよう」要請されたと語る (2・  
1M夕)

⇒1・31 **EU、民主化求める声明**一EU外相理事会 (ブリュッセル)、エジ  
プト政府に対し「広範な支持を受けた政府による民主化プロセスへの大幅  
な移行」を求める声明採択 (2・1A夕)

⇒2・1 **カイロ 100 万人行進**一ムバラクの即時退陣を叫び

→2・2A **「カイロ 100 万人行進、『ムバラクは去れ』**一米、職員に出国命令」  
「軍の動向命運握る、国民とも米とも緊密一野党内、対軍方針に亀裂一政  
権、譲歩小出し不発」／N「『反ムバラク』勢い頂点、エジプト 100 万人デ  
モ一政権の譲歩も拒否、軍の判断で情勢一変も」／T(社)「デモは世界に訴  
える一エジプトの民衆革命」

⇒2・1 **オバマ大統領、「今、政権移行を」と呼びかけ** (ワシントン)

⇒2・1 **ムバラク大統領、即時退陣拒否**一9月の次期大統領不出馬を表明 (2・  
2A夕)

<ムバラク大統領演説要旨> (2・2M夕)

①次期大統領選には出馬しない

- ②平和的な権利移行のため残り任期を全う
  - ③大統領候補の条件修正（議員 65 人以上の署名必要）のため憲法改正要請
  - ④政治、経済、社会的改革を求める人々の要求を満たす
  - ⑤私は軍の出席、責任と義務を放棄しない
  - ⑥私はこの地で死ぬ。私とその他の者たちの評価は歴史が下す
- 2・2 Y 夕『時間稼ぎ、だまされぬ』ムバラク大統領不出馬表明ーデモ参加者、非難強める」「後ろ盾の米が『引退勧告』」
- ⇒2・2 エジプト、デモ隊を襲撃ー「大統領支持派」が民衆を襲う、数百人負傷→死亡 7 人、600 人超ケガ（2・3A 夕）
- 2・3 A 「デモの広場流血ームバラク派突入、投石ー軍は傍観、内戦懸念も」「エジプト衝突ー暴力拡大、米に誤算ー体制移行戦略に影」
- ⇒2・3 ムバラク大統領、米 TV とインタビュー「今辞めれば混乱」ー「（最大野党勢力の）ムスリム同胞国が権力を掌握し、エジプトが混乱に陥る」と述べ、即時辞任を否定（2・4A 夕）
- 2・5 A 「『追放の金曜日』大規模デモー反・親ムバラク派、緊張」「延命へ顔使い分けームバラク政権、対米・対野党・対市民」「米、軍部との接触加速ー新政権視野、同胞国を警戒」

## 小沢氏強制起訴ー民主立ち往生と 3 月危機

- 1・31 小沢一郎氏、強制起訴ー資金管理団体「陸山会」の土地取引事件で、東京第五検審の「起訴議決」を受けて検察官役に指定された弁護士が、政治資金規定法違反（虚偽記載）罪で小沢氏を東京地裁へ起訴
- ⇒小沢氏談話「これからの裁判で私が無実であることは、おのずと明らかになる」「『国民の生活が第一』の政治を実現するため、民主党議員として努力する」／指定弁護士（記者会見）、「有罪を確信したから起訴するのではなく、起訴議決がされたので職務として起訴した」「小沢氏を起訴することは法曹としての良心に恥じないと思っている」（2・1A）

→2・1A「小沢元代表強制起訴—政治資金虚偽記載の罪、本人「無実、離党せず」「有罪立証には困難も」「展望なき小沢切り—自発的離党に期待、野党と連携見えず—追いつめられた小沢氏、党処分・裁判長期化を懸念」「強気の両者—弁護団『完全無罪へ最大努力』小沢代表『異質な起訴』「白か黒か法廷対決—検察側『共謀立証へ多くの事実』強制起訴への手探り3ヵ月」／N「民主、処分でも迷走—首相強硬貫けず、党内対立の激化恐れる」／H「小沢マネー底なし、強制起訴—解党のたび大もうけ、09年総選挙時の原資にも」「巨額の使徒不明解明を」

#### →2・1 各紙社説

A「小沢氏起訴—市民の判断に意義がある」

M「小沢元代表起訴—まず離党してけじめを」

Y「小沢氏強制起訴—政治的なけじめをつける時だ」

N「小沢氏強制起訴—『無実』なら説明厭うな」

サ「小沢氏強制起訴—やはり議員辞職しかない、国民代表の結論無視するな」

H「小沢氏強制起訴へ—国会での解明はいよいよ重要」(1・31付)

## 新燃岳の怒り・記録的大豪雪、八百長メールと

1・31 霧島連山・新燃岳、「溶岩ドーム直径500m」—入山規制エリアを3キロ(従前2キロ)、宮崎県高原町513世帯、計1158人に避難勧告

←10・26 爆発噴火以来、相次ぐ(1・31A夕) →噴出量7000万トンとの推計(2・1産業技術研発表)(2・1Y夕)

1・31 Y夕「北陸豪雪交通マヒ—北陸道800台立ち往生、特急7本、社内で一夜—新潟、早朝18万戸停電」「関東カラカラ—乾燥注意報32日連続—火災相次ぐ、4人死亡」

→2・1A夕「首都圏カラカラ、乾燥注意報33日連続—保湿商品売り上げ増、加湿器・クリーム・ぬれマスク」

→2・2A「積雪記録 37 地点更新」1 月天候、太平洋側はカラカラ」「大雪死者 81 人、高齢者が 6 割」

→2・3M「除雪中の事故相次ぐ」一屋根から転落、死亡」

→2・4Mタ「記録的豪雪直撃」除雪機買えない！！一家庭用増産しても売り切れ

2・2 M「天然ウナギ卵初採集」グアム西沖、東大大気海洋研「産卵時期・位置も特定」／N「天然ウナギの卵発見」世界初、マリアナ沖で「完全養殖へ前進」

1・31 国富、2 年連続マイナス「09 年度の国民経済計算（内閣府発表、速報値）  
一土地などの資産から負債を差し引いた国全体の正味資産（国富）は、2712 兆 4000 億円（09 度末、前年比 3.4%減）  
一詳細①一般政府マイナス 48.8 兆円、（08 年度末 6.1 兆円）、②非金融法人企業 604, 7 兆円（同 623.6 兆円）、③金融機関 38.2 兆円（同 44.1 兆円）、④家計 2039.0 兆円（同 2054.5 兆円）、⑤民間非常利団体 79.3 兆円（同 79.7 兆円）（2.1N）

2・2 「八百長相撲」メール判明（2・2 各紙夕刊）

→2・3A「八百長 13 力士調査」協会謝罪、外部委設置「聴取の力士疑惑を否定」→2・3 各紙社説

A「八百長メール」相撲は競技か」

M「八百長相撲疑惑」過去を含め徹底究明を」

Y「八百長疑惑」徹底解明が相撲協会の責務だ」

H「八百長発覚」相撲協会にもう『徳俵』はない」（2・5 付）

⇒2・3 枝野官房長官、「八百長が蔓延しているような法人であれば公益認定を得ることは難しい」（2・3A夕）

→2・3A夕「親方衆『もうダメかも』」一『春場所難しい』角界土俵際」一『相撲で八百長常識』暴力団関係者」

⇒2・3NHK、「2・11NHK福祉大相撲」中止決める／フジテレビ、5・6 大相撲トーナメント中止（2・4A）

- ⇒2・4 高木義明文科相、春場所中止「指導を検討することもある」と(2・4M夕)
- 2・5A「春場所中止を検討―前売り延期、八百長調査に時間」／Y「春場所中止へ―あす理事会決定、八百長解明遅れ―疑惑14人携帯提出要求、特別調査委」
- ⇒2・6 春場所中止を決定(日本相撲協会)、1964年夏場所以来65年ぶり
- 2・6A「春場所中止、不祥事で史上初―関東大震災も戦争も乗り越えた」
- 2・3 A「最多17万人、孤独死の影―昨年1年間、警察が出向いて調べた遺体」  
 ―①犯罪性のない遺体2010年、前年比6.3%増の17万1025体で過去最多、  
 ②犯罪の疑いがある「変死体」の遺体、4年連続増え続け、昨年1万8383体(前年比17%増)、過去最多、③司法解剖と行政解剖が実施された遺体は計1万9083体(2・3A夕)
- 2・3 Y「小沢元代表「辞職を」56%、本社緊急世論調査―内閣支持率下落27%」  
 ―政党支持率、民主22%、自民21%、支持政党なし44%
- 2・2 小沢一郎氏「総選挙は早いぞ」―鹿児島市で民主議員に発言「公明党は『4月の統一選挙と総選挙が同日選になっても勝てる』と考えており、本気で民主党と戦おうとしている」と分析(2・4A)
- ⇒2・3 公明・山口那津男代表(記者団)、「予算案、関連法案に反対」―「菅政権が民主党のマニフェスト通りにできなければ、信を問うか、総辞職するのが筋だ」「(マニフェストについて)民主党自身が国民との約束を強調してきた。それを破るなら、政権を担う資格はない」(2・4A)
- 2・4M「公約修正次々―自公が批判、予算審議展望なく」「小沢氏離党勧告困難に―臨時役員会、輿石氏ら反発―処分問題長期化へ」
- 2・5T「(3月政権危機)現実味―公明、予算関連法案に反対―野党連携、首相、見込み違い」
- 2・3 経済同友会、外交提言―「日本力を発揚する主体的総合外交戦略」発表―日米同盟を「国際公共財」としたうえで①集団的自衛権行使を可能とする憲法解釈の変更、②自衛隊の海外派兵を「より有効かつ機動的に進めるた

め」の恒久法制定、②T P Pへの参加は「日本の国益増進」になるとし、その議論が必要一と提言（2・4H）

## 住基ネット「離脱違法」判決―共通番号制の「追い風」

2・4

**住基ネット離脱「違法」地裁判決―東京地裁**（杉原則彦裁判長）、東京都国立市が住基ネットから離脱しているため、不必要な経費が支出されているとして、住民5人が関口博・国立市長を訴えた住民訴訟で「住基ネットからの離脱を違法」とし、経費差し止めと支出1部約40万円の支払いを命ずる判決（2・5Aほか）―原告代表・鈴木雄一防衛大教授（2・5T）

→2・5M「住基ネット未接続は違法―東京地裁判決国立市が敗訴、『住民の利便性妨害』―関口市長『残念、控訴する』」「切断認めぬ流れ明確に」／  
A「共通番号制『追い風』」←2・4Y(社)「共通番号制導入―与野党協議の入口にできる」

→2・5Y(社)「住基ネット訴訟―参加を拒む国立市への警告だ」

⇒2・4 民主「社会保障と税の抜本改革調査」（会長・仙谷由人代表代行）、4月までの提言まとめる方針固める（2・5T）

⇒2・5 社会保障・税改革に関する集中検討会議、初会合一「社会保障と税の一体改革」の本格的検討を開始、年金制度と消費税率引上げが焦点―自公政権時代にまとめられた社会保障改革案を軸に／民間委員―吉川洋東大教授、成田豊電通名誉相談役、宮本太郎北大教授、古賀伸明連合会長、清家篤慶大塾長、宮島香澄日本テレビ解説委員、柳沢伯夫城西国際大学長（元厚相）、堀田力さわやか福祉財団理事長、渡辺捷昭トヨタ副会長の計10人の民間委員、関係閣僚、与党幹部、有識者ら計20人の幹事委員で構成、専門家18人（内閣府参与の湯浅誠、宮本みち子放送大教授ら福祉、雇用など）（2・6Y）

→2・6 社説

A「社会保障改革―年金以外へも視野を広く」

Y 「社会保障改革—具体的な与党案を早急に示せ」

H 「集中検討会議—中身も顔ぶれも自民と『一体』」

- 2・5 A 「訪米延期？揺れる首相—国会受難『宿題』遅れも、共通戦略見直し—  
同盟強化狙う米は注目、政権基盤を懸念」／T 「首相訪米 6 月下旬軸—国会  
混乱なら先送りも、両政府」

## 相撲八百長春場所中止と名古屋トリプル選と

- 2・6 相撲春場所中止—「八百長」事件で戦後初  
→2・7A 「本場所全容解明まで中止—八百長問題、5 月場所も微妙—『相撲  
の歴史に最大の汚点』巡業は年何中止」「(社)春場所中止—土俵の信頼取り戻  
せるか」

- 2・6 愛知知事選・名古屋市長選・市議会解散「トリプル」投票

名古屋市長選（投票率 54.14%）—河村たかし候補再選 662,251、石田芳弘  
候補（民・社・国）216,764、八田ひろ子候補（共）46,405

愛知県知事選（投票率 52.52%）大村秀章候補当選 1,502,571、重徳和彦候  
補 546,610、御園慎一郎候補（民・社・国）487,896、薬師寺道代（み）  
324,222、土井敏彦（共）141,320

市議会解散是非問う住民投票（投票率 54.17%）—賛成 677,796（72.97%）、  
反対 251,039（27.03%）

→・7A 「河村氏（名古屋市長選）と大村氏（愛知知事選）圧勝—市議会リ  
コール成立）「民主、河村流に大敗—幹部、党の結束優先、身を切る改革停  
滞のまま—民意に鈍感低迷の要因、中堅若手、政権に危機感」

→2・7 各紙社説—名古屋選挙

A 「名古屋選挙一次は、働く議会を作ろう」

M 「名古屋ショック—既成政党の埋没は深刻だ」

Y 「トリプル投票—危うさ伴う愛知の劇場型政治」

Y 「民主党政権も問われる—名古屋・トリプル審判」



ト「民主党政権も問われる一名古屋・トリプル審判」

サ「トリプル投票ー国民の政権不信の表れた」